

男女共同参画に関する職員意識調査

報告書

(概要版)

平成26年2月

静岡市 男女参画・市民協働推進課

I 調査の概要

1 調査目的

市職員の男女共同参画意識について把握・分析し、今後の男女共同参画推進に向けた取組の参考とすることを目的として実施する。

2 調査内容

①社会通念・慣習・しきたりに関する男女平等感、②男性の育児休暇・介護休暇の取得、③仕事の責任分担、④仕事上の発言機会、⑤昇任の男女差、⑥セクハラ・DVに関する研修の受講、⑦職場におけるセクハラ、⑧昇任意欲、⑨女性の管理職が少ない理由、⑩女性の管理職を増やすための取組、⑪その他男女共同参画に関する意見・要望

3 調査設計

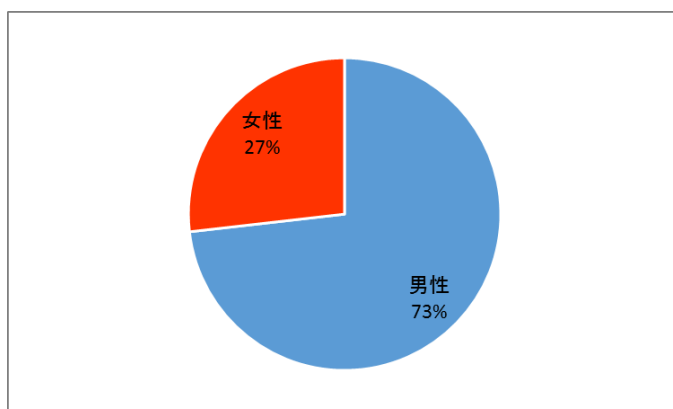
- (1) 調査対象 市政総合ネットワークパソコンが配備された職員
- (2) 標本数 約 4,300 名
- (3) 調査方法 電子申請システム
- (4) 調査期間 平成 25 年 3 月 1 日 (金) ～ 3 月 8 日 (金)

4 回答数

1,914 人 (標本数の約 45%)

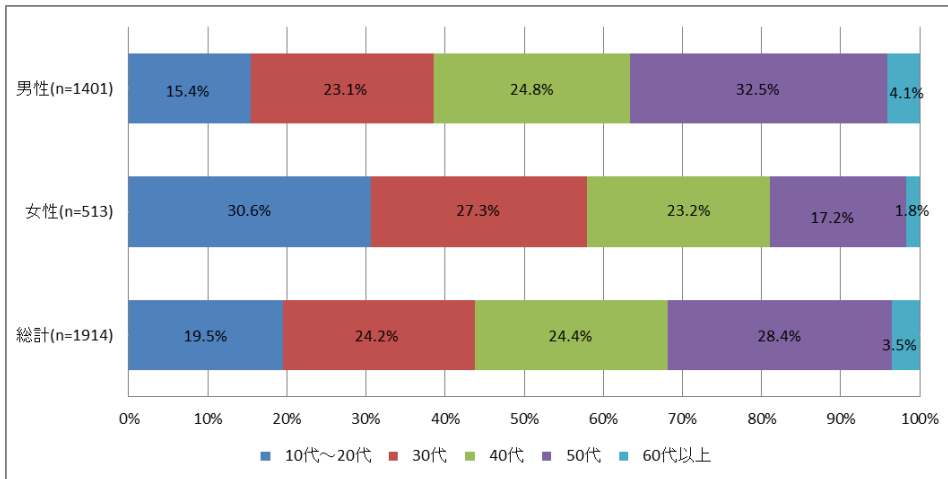
5 回答者の属性

(1) 性別

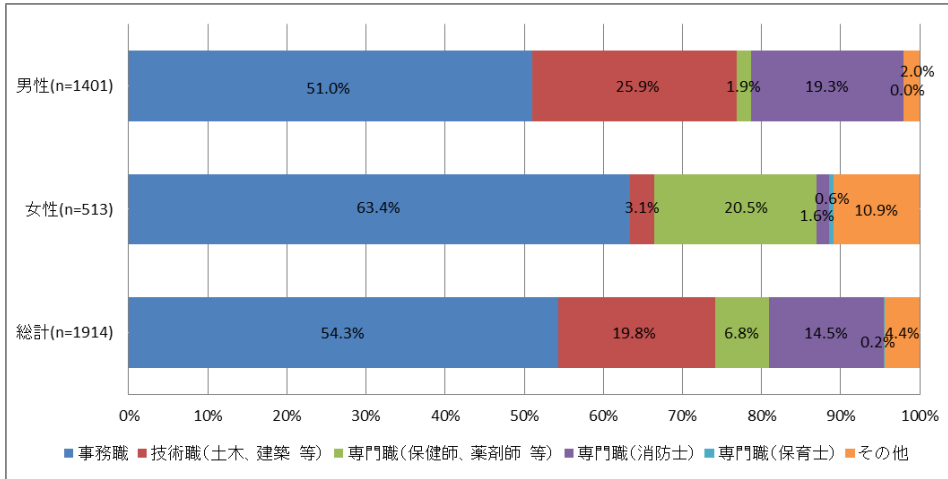


性別	人数
総計	1,914
男性	1,401
女性	513

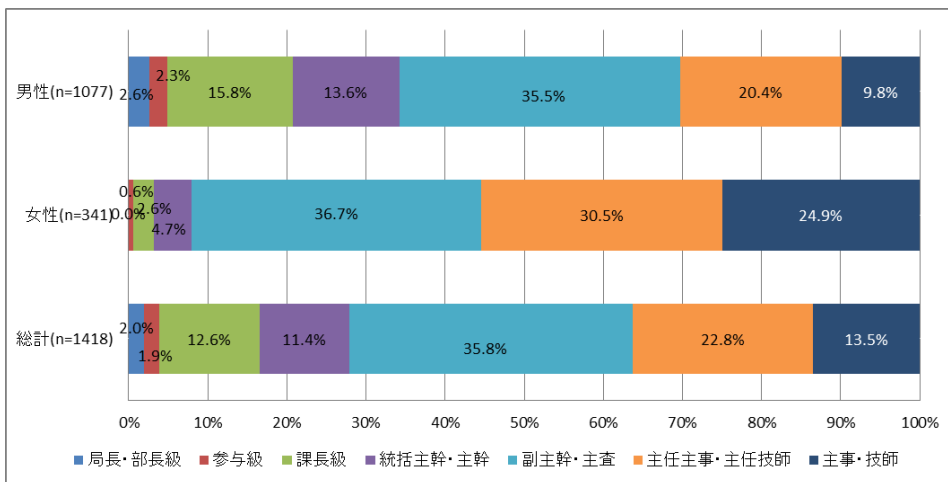
(2) 年代



(3) 職種



(4) 職位 ※事務職・技術職のみ

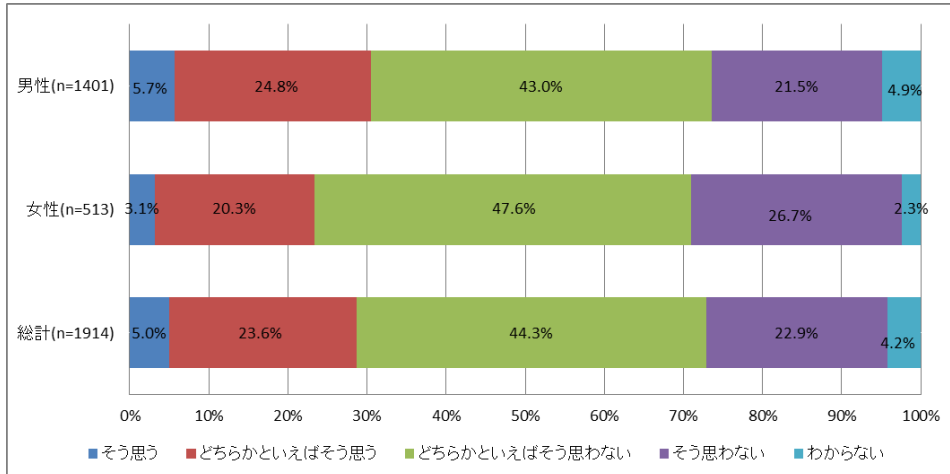


Ⅱ 調査結果 (主な項目のみ)

「社会通念・慣習・しきたり」に関する男女平等感

男女とも半数以上が「男女平等だとは思わない」と考えている

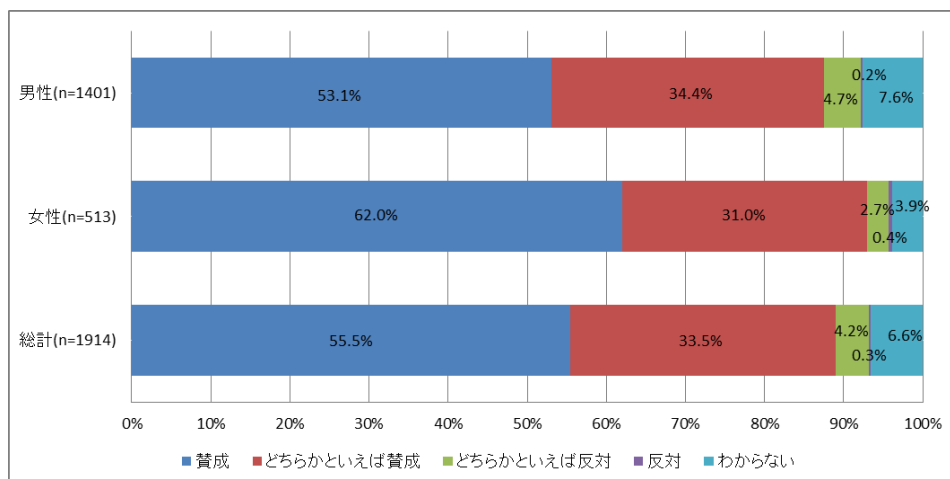
問「あなたは、今の世の中で、社会通念・慣習・しきたりなどについて、男女平等だと思いますか。」



男性の「育児休暇」「介護休暇」取得

男女ともに、およそ9割が男性の育児休暇や介護休暇取得に賛成している

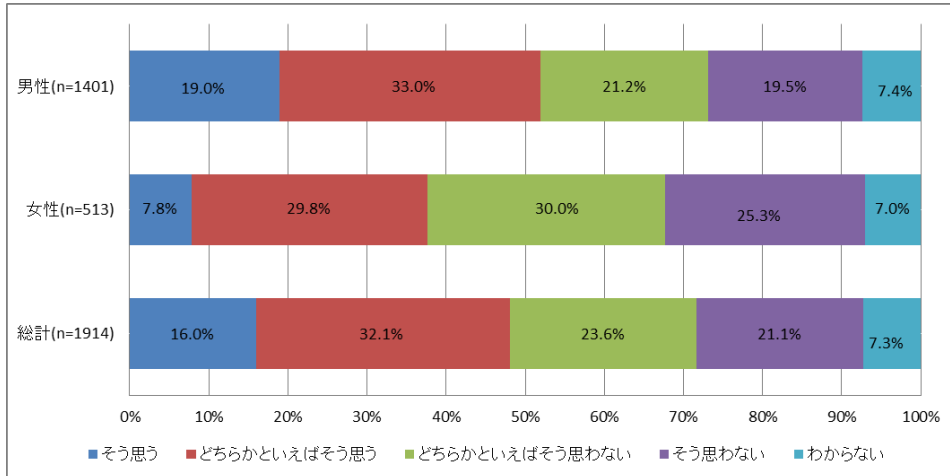
問 男性が「育児休暇」や「介護休暇」を取ることに、どう思いますか。



職場での仕事の責任分担

女性よりも男性のほうが、仕事の責任分担における男女差を感じている

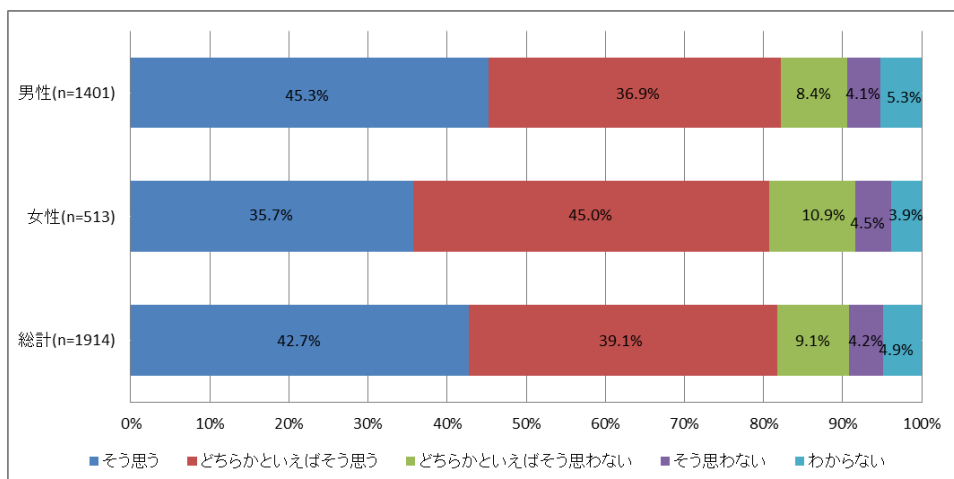
問 職場での仕事の責任分担に男女差があると思いますか。



仕事上での発言機会

男女平等に与えられていると感じる職員が約8割いる一方で、平等に与えられていないと感じる職員も1割を超えている

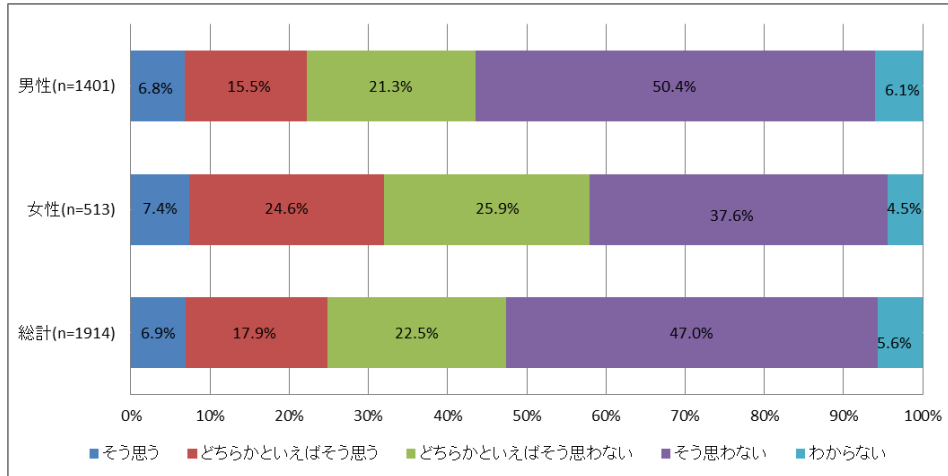
問 仕事上での発言機会が男女平等に与えられていると思いますか。



昇任における男女差への意識

男性の2割、女性の3割は、昇任に男女差があっても仕方がないと考えている

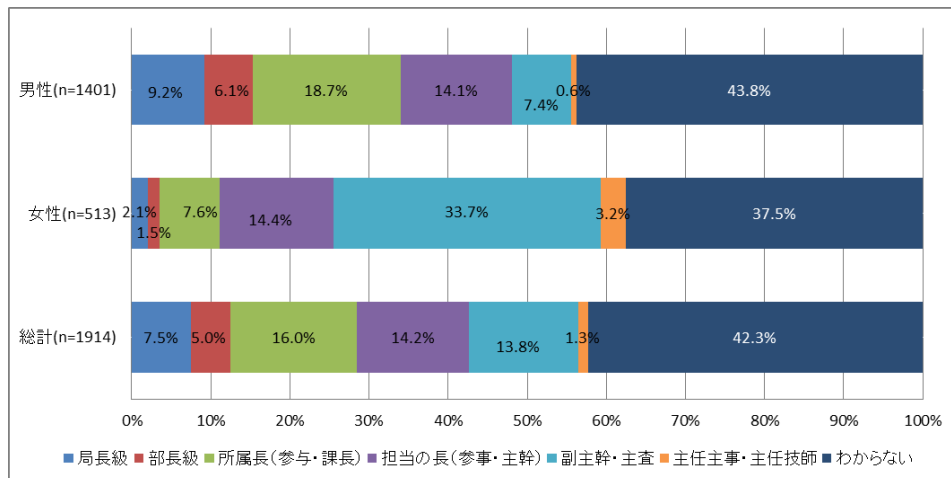
問 昇任に男女差があっても仕方がないと思いますか。



将来希望する職位

男性の3割以上が「所属長」以上の管理的職位を希望している一方で、女性は約1割となっている。

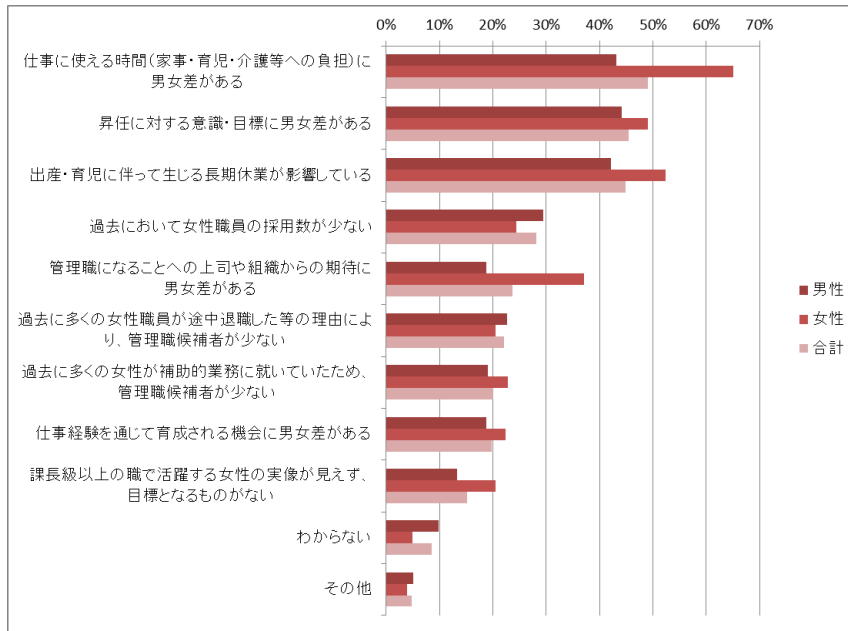
問 あなたは将来、どの職位まで昇任したいと思いますか。



本市の女性管理職が少ない要因

男性は、「意識・目標の男女差」をあげる一方で、女性自身は、「仕事に使える時間の男女差」をあげている。

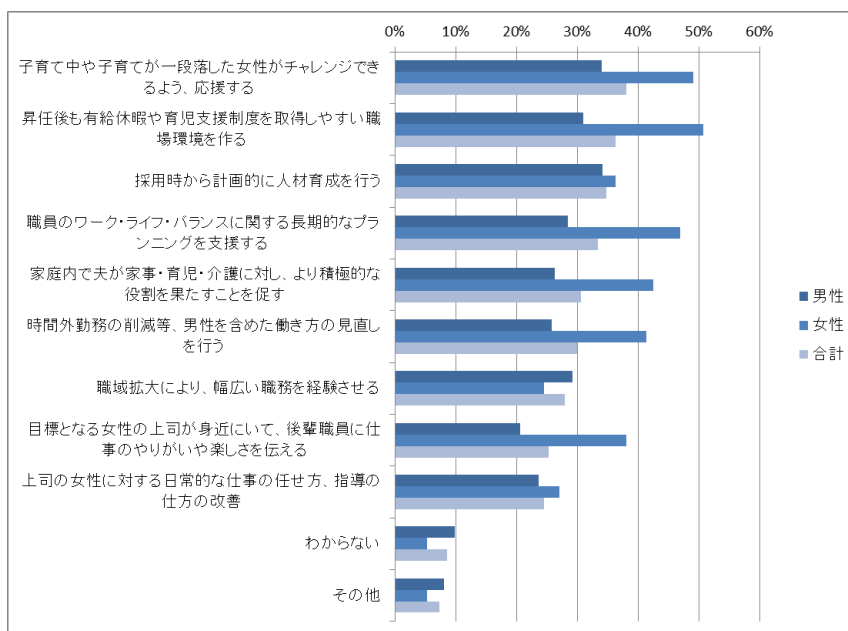
問 本市における女性職員の管理職（課長級以上）に占める割合は、一般行政職では 3.9%（平成 24 年 4 月現在）と政令市の中でも低位にあります。女性の管理職の割合が少ない主な要因は何だと思いますか。（複数回答）



女性管理職が増えるための方策

女性の半数以上が、「昇任後も有給休暇や育児支援制度を取得しやすい職場環境」の整備をあげている。

問 女性の管理職が増える方策として効果的な取組は何だと思いますか。（複数回答）



静岡市

生活文化局 市民生活部 男女参画・市民協働推進課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

TEL : 054-221-1349

FAX : 054-221-1782